

養老鉄道存続のため 無料駐車場をふやし他町の人もOKに



美濃本郷駅の無料駐車場
平日は42台満車、入れない車もある

町内の3駅から大垣まで1年定期は140、620円、養老鉄道の大切な基礎収入源だ。美濃本郷駅と北池野駅の東駐車場は平日満杯、利用者増をはかるためもつと駐車場を。

町長

他町に先駆けて無料駐車場の整備をしてきたので養老鉄道利用者が減っている中、町内3駅とも1割の乗客増だ。今後も逐次すすめる。

少しでも乗客を増やしたい時に「町外の方はご遠慮下さい」という駐車場の看板の文字は消された。

町長

町内利用者が落ち着いたら消す。

各駅に鉄道を支援するボランティア組織を公募で作り、駅周辺を地域民が守る形にしたらどうか。

町長

そんな組織があれば大変ありがたい。自主的に作っても、できれば、町は積極的に支援する。

洪水被害を最小に抑えるために 川の容量を大きく

1年前の西濃豪雨の復旧工事が大津谷・大谷・霞間ヶ溪の巨大堰堤などで今も行われている。事業費はいくらになるのか。

町長

国の指定を受けたので3年間は事業が続き、確

定事業費としては12億円。内、町の負担は3%の3760万円、あとは国・県の負担。最終的には15億円になるだろう。

平成14年の災害でも多くの土砂が出たが、今回はどうだったか。

町長

14年は6万㎡、今回は15万㎡と大量だった。今後に備えて堰堤を造ってもらっている。

復旧する時、あまりに人工的な谷川より、さらに強くしなやかに自然に寄り添った復旧を考えられないか。すなわち、川幅を広げ川底の土砂を取り堤防を高くし、水量が多くてもスムーズに流れるように。また最大流量を減らすため遊水地もというように。



海津市南濃の羽根谷だんだん公園
砂防のモデルとも言われる。広い河道と、いくつもの堰堤があばれ谷の流れを安定化した。

町長

上流に堰堤をたくさん造り、下流の負担を無くしていきたい。霞間ヶ溪は文化財なので河積断面をあれ以上大きくは出来なかった。

災害にそなえ、住民みずから住んでいる土地の特徴を知ってもらうため役場にハザードマップを引き伸ばして展示された。

町長

やります。